

# サイボウズ ガルーン 3

インストールマニュアル

第2版

サイボウズ株式会社

# はじめに

本書では 1 台のサーバーマシンに「サイボウズ ガルーン バージョン 3.0.0」をインストールする手順と、インストール後の初期設定について説明します。

ガルーンをバージョン 3.0.0 にバージョンアップする手順についても説明します。




アプリケーションサーバーとデータベースサーバーを分離した環境でインストールまたはバージョンアップする場合は、『サーバー分離構成インストールマニュアル』を参照してください。

## ■対象読者

本書は「サイボウズ ガルーン バージョン 3.0.0」のインストール作業を担当される方を対象として書かれています。

## ■本書で使用している記号（表記）

本書では、次のように表記します。

表 記	意 味
 <b>重要</b>	特に重要な注意事項を記述しています。
 <b>注意</b>	操作に注意すべき事項、制限事項などを記述しています。
 <b>補足</b>	操作の補足説明や別の操作方法、知っていると便利な事柄などを記述しています。
※	用語の説明や操作を補足する説明が後述されていることを表します。

## ■マニュアル作成環境

本書の説明は、特に記述がない限り、次の環境を使用して記述しています。

OS	Windows Server 2003, Standard Edition (SP2)
Web ブラウザー	Internet Explorer 8
製品バージョン	サイボウズ ガルーン バージョン 3.0.0

※ 本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

## ■製品名称と略称

本書中、製品名称は次のように表記します。

製品名	略 称
サイボウズ ガルーン バージョン 3.0.0	ガルーン 3

## ■商標について

- ・ 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。  
また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。  
個別の商標・著作物に関する注記については、こちらをご参照下さい。  
[http://cybozu.co.jp/company/copyright/other\\_companies\\_trademark.html](http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html)
- ・ OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)  
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.  
(<http://www.openssl.org/>)  
This product includes cryptographic software written by Eric Young  
([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com))  
This product includes software written by Tim Hudson  
([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com))

# 目次

---

---

<b>第 1 章</b>	<b>インストール概要</b> .....	<b>7</b>
1.1	動作環境.....	8
1.2	インストーラーの名称.....	10
1.3	ファイル構成.....	11
1.4	導入の流れ.....	19
1.5	準備しておく情報について.....	20
1.6	ネットワークの設定について.....	21
<b>第 2 章</b>	<b>Windows 環境へのインストール</b> .....	<b>23</b>
2.1	インストールする前の確認.....	24
2.2	Windows 環境へインストールする.....	25
<b>第 3 章</b>	<b>Linux 環境へのインストール</b> .....	<b>31</b>
3.1	インストールする前の確認.....	32
3.2	Linux 環境へインストールする.....	33
<b>第 4 章</b>	<b>インストール後の初期設定</b> .....	<b>37</b>
4.1	「ガルーン 3」を初期化する.....	38
4.2	お客様情報を登録する.....	41
4.3	システム管理者を登録する.....	43
4.4	データベースエンジンの設定を変更する.....	47
4.4.1	my.ini ファイルを変更する.....	48
<b>第 5 章</b>	<b>バージョンアップ</b> .....	<b>49</b>
5.1	Windows 環境でのバージョンアップ.....	50
5.2	Linux 環境でのバージョンアップ.....	54
5.3	バージョンアップ後に行う作業.....	58
5.3.1	更新プログラムを実行する.....	58
5.3.2	テーブルキャッシュサイズを変更する.....	62
5.3.3	認証パスワードを再設定する.....	63
5.3.4	ライセンスを登録する.....	64

<b>第 6 章</b>	<b>アンインストール</b> .....	<b>65</b>
6.1	Windows 環境でのアンインストール.....	66
6.2	Linux 環境でのアンインストール.....	69
	<b>索 引</b> .....	<b>72</b>



# インストール概要

# 1

「ガルーン 3」をインストールする前の確認事項や準備について説明します。インストールする前に必ずこの章をお読みください。

1.1	動作環境 .....	8
1.2	インストーラーの名称 .....	10
1.3	ファイル構成 .....	11
1.4	導入の流れ .....	19
1.5	準備しておく情報について .....	20
1.6	ネットワークの設定について .....	21

# 1.1 動作環境

1.1

動作環境

「ガルーン 3」の動作環境は次のとおりです。(2010年7月現在)

## ● 対応 OS

OS	バージョン
Windows	Windows Server 2003 R2, Standard Edition (SP2) Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition (SP2) Windows Server 2003, Standard Edition (SP2) Windows Server 2003, Enterprise Edition (SP2) Windows Server 2008 Standard (SP2) Windows Server 2008 Enterprise (SP2)
Windows (64bit)	Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition (SP2) Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition (SP2) Windows Server 2003, Standard x64 Edition (SP2) Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition (SP2) Windows Server 2008 R2 Standard x64 Windows Server 2008 R2 Enterprise x64 Windows Server 2008 Standard x64 (SP2) Windows Server 2008 Enterprise x64 (SP2)
Linux	Red Hat Enterprise Linux AS v.4 Red Hat Enterprise Linux ES v.4 Red Hat Enterprise Linux 5 Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform SUSE Linux Enterprise Server 11
Linux (64bit)	Red Hat Enterprise Linux AS v.4 Red Hat Enterprise Linux ES v.4 Red Hat Enterprise Linux 5 Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform SUSE Linux Enterprise Server 11

## ● 対応 Web サーバー

OS	Web サーバー
Windows	Apache 2.0.x / 2.2.x
	インターネットインフォメーションサービス (IIS) 6.0 / 7.0 / 7.5
Linux	Apache 2.0.x / 2.2.x

## ● 対応 Web ブラウザー

OS	Web ブラウザー
Windows	Internet Explorer 6 / 7 / 8
	Mozilla Firefox 3.6
Macintosh	Safari 4.0
	Mozilla Firefox 3.6
iPhone	Safari

### 補足

- 仮想環境対応について  
「ガルーン 3」は OS 上で動作するソフトであるため、仮想化環境でも動作します。なお、仮想化環境の特性上、お客様の環境によってはパフォーマンスに影響を与える可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 画面の表示は、Web ブラウザーによって異なります。
- メールクライアント機能を利用される場合、別途メールサーバーが必要です。対応しているメールサーバーは、次のとおりです。

プロトコル

- ・ SMTP
- ・ POP3
- ・ IMAP4 ※

認証形式

- ・ APOP
- ・ POP before SMTP
- ・ SMTP Authentication (SMTP 認証)

※ IMAP4 は「メール受信機能」のみに対応しています。その他の機能は操作・使用できません。

- 次の機能を使用する場合、「ガルーン 3」をインターネットに接続できる環境が必要です。
  - ・ ネット連携サービスの「天気予報」、「六曜」
  - ・ 「サイボウズからのお知らせ」
  - ・ RSS リーダー（インターネット上のサイトを登録する場合）
- 最新の動作環境は弊社 Web サイトを参照してください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/environment/>

## ■ サーバー環境構築例

利用ユーザー数によって、「ガルーン 3」をインストールするサーバーの環境が異なります。サーバーの構築例については、弊社 Web サイトを参照してください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/construction/>

## 1.2 インストーラーの名称

1.2

インストーラーの名称

インストールするサーバーの OS によってインストーラーが異なります。

OS	インストーラーの名称
Windows 版	grn-3.0.0-windows.exe
Windows (64bit) 版	grn-3.0.0-windows-x64.exe
Linux版	grn-3.0.0-linux.bin
Linux (64bit) 版	grn-3.0.0-linux-x64.bin

### 補足

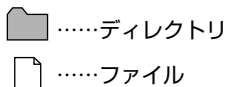
- 「ガルーン 3」のインストーラーは、弊社 Web サイトから、サーバーの OS に合わせてダウンロードしてください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>

## 1.3 ファイル構成

「ガルーン 3」のファイル構成を記載します。インストールされるファイルは、「本体」「Cybozu データベースエンジン」「画像ファイル」の3つに分類されます。

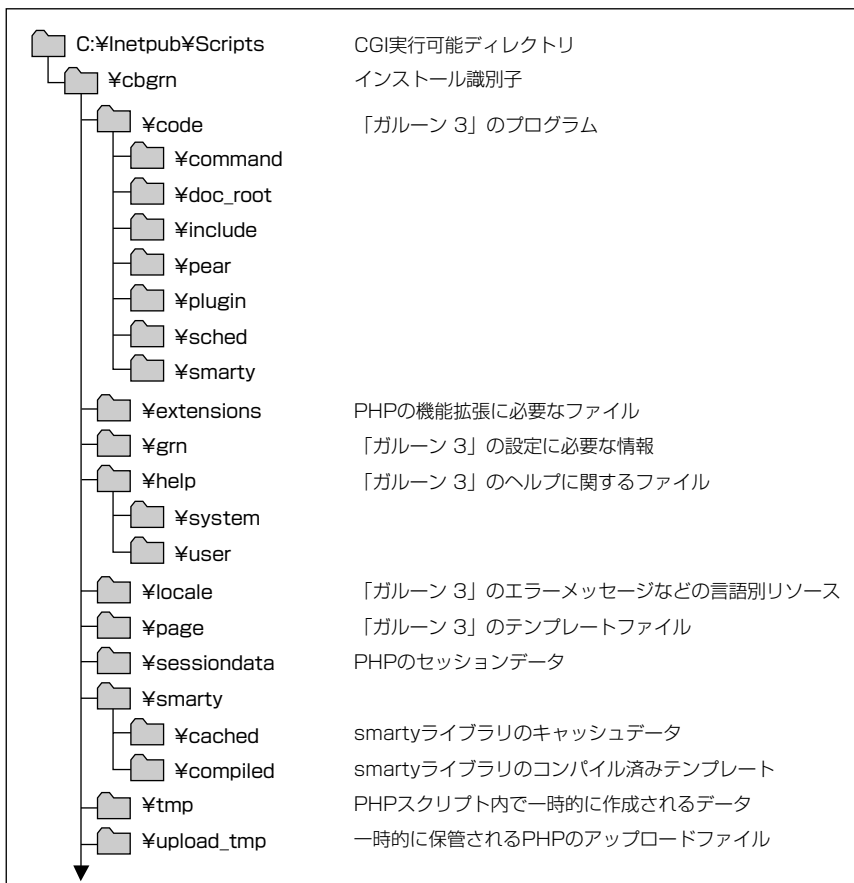
既定のディレクトリとインストール識別子（例：cbgrn）を使用して「ガルーン 3」をインストールした場合のファイル構成は、次のとおりです。



### ■ Windows 版

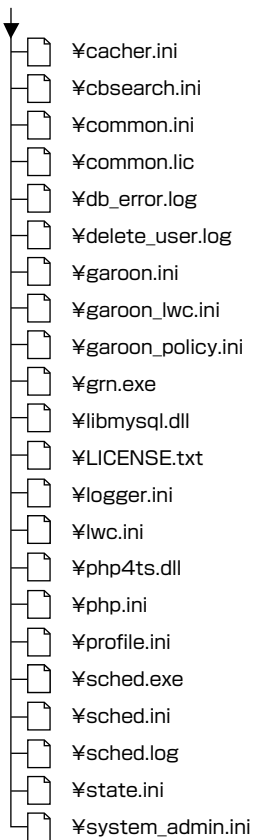
#### ● 本体

「ガルーン 3」の本体関連のファイルは、インストール時に指定した CGI 実行可能ディレクトリ（例：C:¥Inetpub¥Scripts）に、インストール識別子と同じ名称のディレクトリを作成してインストールされます。



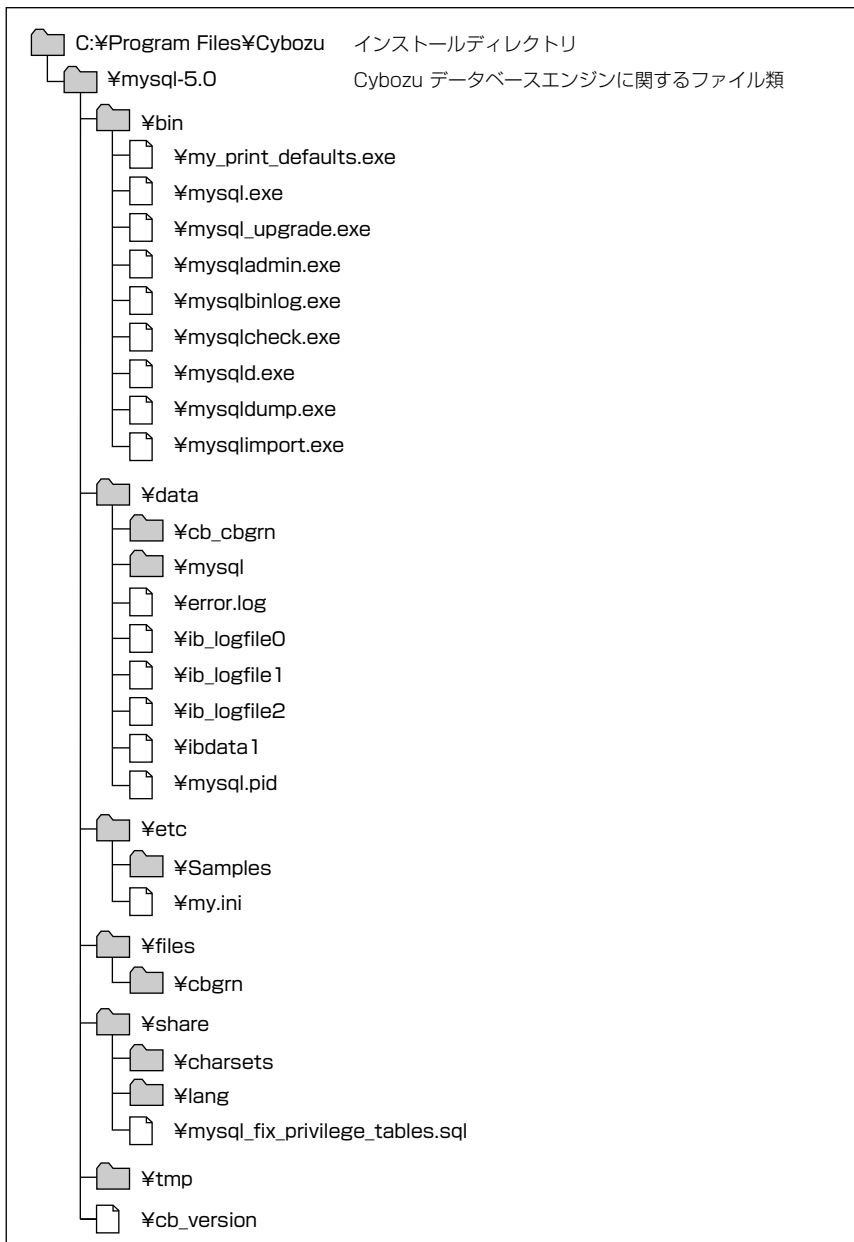
## 1.3

### ファイル構成



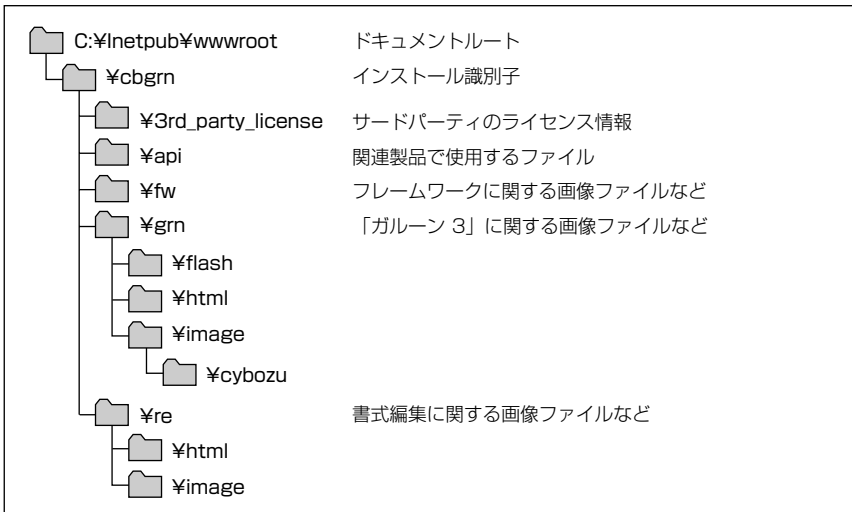
## ● Cybozu データベースエンジン

データベースエンジン関連ファイルは、インストール時に指定したインストールディレクトリ（例：C:\Program Files\Cybozu）にインストールされます。



## ● 画像ファイル

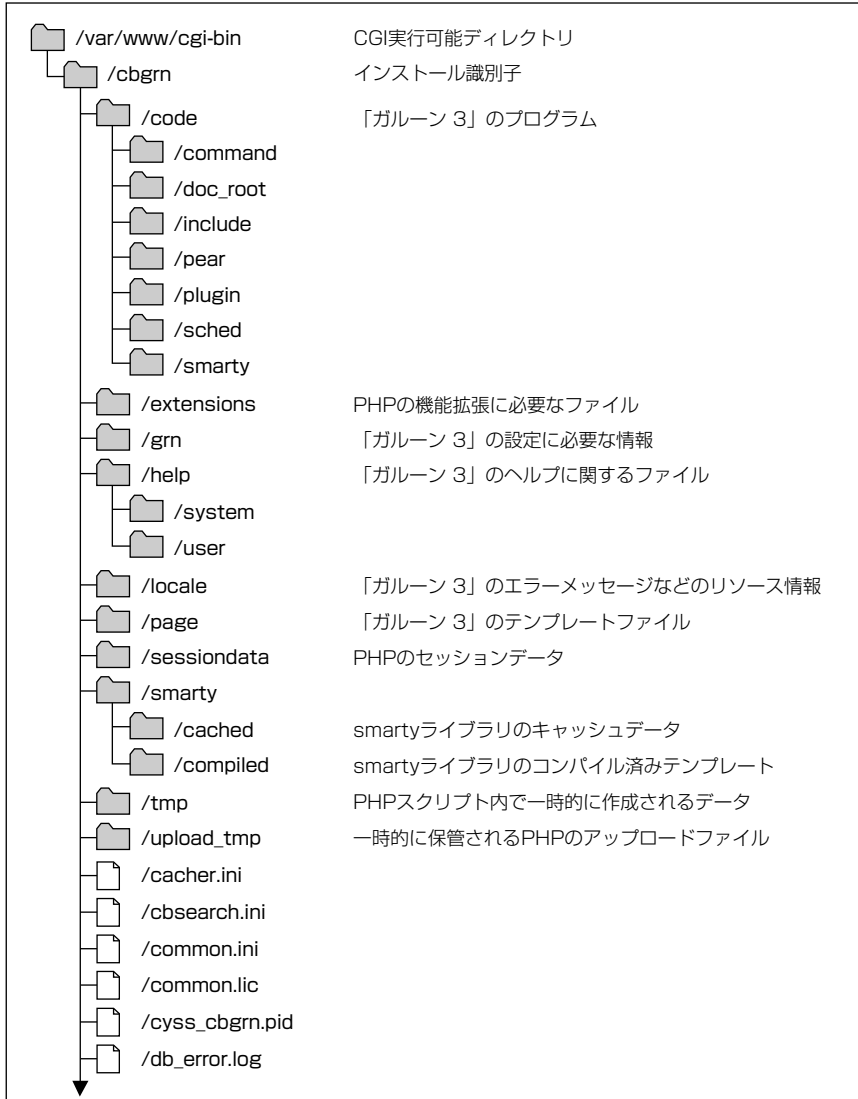
画像ファイルは、インストール時に指定したドキュメントルート（例：C:\inetpub\wwwroot）に、インストール識別子と同じ名称のディレクトリを作成してインストールされます。



## ■ Linux 版

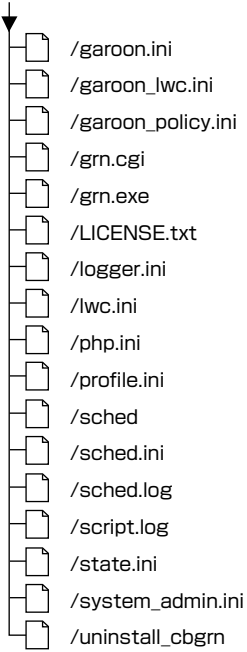
### ● 本体

「ガルーン 3」の本体関連のファイルは、インストール時に指定した CGI 実行可能ディレクトリ（例：/var/www/cgi-bin）に、インストール識別子と同じ名称のディレクトリを作成してインストールされます。



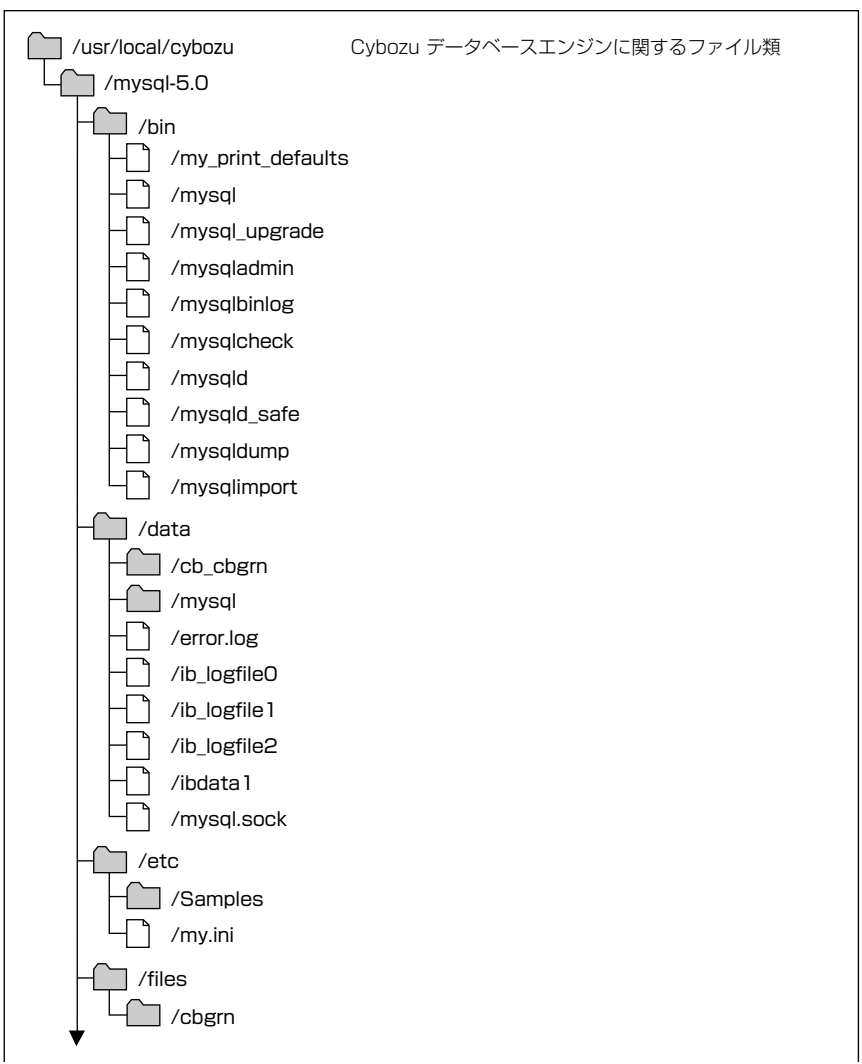
## 1.3

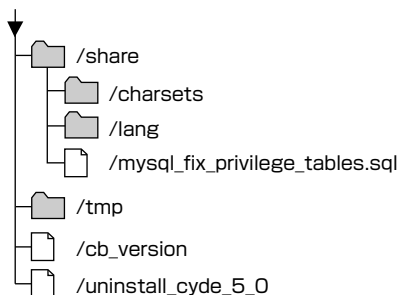
### ファイル構成



## ● Cybozu データベースエンジン

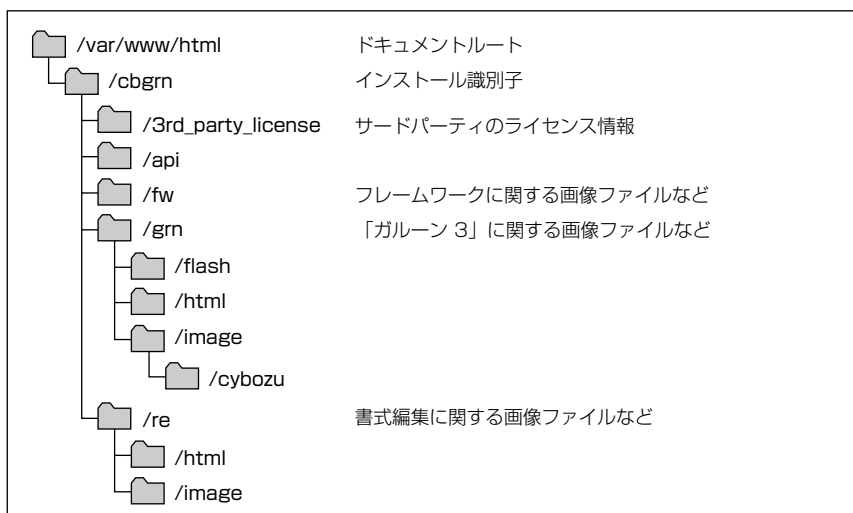
データベースエンジン関連ファイルは、インストール時に指定したインストールディレクトリ（例：/usr/local/cybozu）にインストールされます。







### ● 画像ファイル

画像ファイルは、インストール時に指定したドキュメントルート（例：/var/www/html）に、インストール識別子と同じ名称のディレクトリを作成してインストールされます。



### ● 起動スクリプトファイル

起動スクリプトファイルは、起動スクリプトディレクトリ（例：/etc/rc.d/init.d）にインストールされます。

- |   |                             |                          |
|---|-----------------------------|--------------------------|
|  | /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0   | Cybozu データベースエンジン起動スクリプト |
|  | /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn | スケジューリングサービス起動スクリプト      |

## 1.4 導入の流れ

「ガルーン 3」を導入する前に、様々な情報を準備しておく必要があります。次の流れにしたがって作業してください。

### 各種設定情報を準備する

あらかじめ各種設定情報を準備しておきます。  
「準備しておく情報について」→ P.20



### インストール/バージョンアップする

新規にインストールする場合

- ・ Windows 環境：「第 2 章 Windows 環境へのインストール」→ P.23
- ・ Linux 環境：「第 3 章 Linux 環境へのインストール」→ P.31

バージョンアップする場合

- ・ Windows 環境：「第 5 章 Windows 環境でのバージョンアップ」→ P.50
- ・ Linux 環境：「第 5 章 Linux 環境でのバージョンアップ」→ P.54



### 初期設定する（新規インストール時のみ）

Administrator（スーパーユーザー）と、データベース接続ユーザーのパスワードを設定し、「ガルーン 3」を初期化します。  
その後、システム管理者とお客様情報を登録します。  
「第 4 章 インストール後の初期設定」→ P.37

### 補足

- サーバーの負荷を軽減するため、「ガルーン 3」を複数のサーバーで運用できます。詳しくは、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

## 1.5 準備しておく情報について

1.5

準備しておく情報について

導入を始める前に、次の情報を収集する必要があります。

必要な情報	備 考
Administrator (スーパーユーザー) のパスワード	「ガルーン 3」を初期化するときに必要な Administrator (スーパーユーザー) のパスワードです。
「ガルーン 3」のシステム管理者情報	「ガルーン 3」の基本システムを管理するシステム管理者の情報です。システム管理者の「名前」「ログイン名」「パスワード」などの情報をご用意ください。
お客様情報	「ガルーン 3」を導入するお客様の情報です。「法人名」「法人名 (よみ)」「ロゴ (URL)」または「ロゴ (ファイル)」の情報をご用意ください。
ドキュメントルート	Web サーバーで公開される HTML ドキュメントやイメージなどを格納するディレクトリの情報です。ドキュメントルート以下が Web で公開されます。ドキュメントルートは、Web サーバーの設定によって異なりますので、システム管理者にお問い合わせください。
CGI 実行可能ディレクトリ	Web サーバーで CGI が実行可能なディレクトリの情報です。通常、セキュリティの関係上、ドキュメントルートでは CGI が実行できません。CGI 実行可能ディレクトリは、Web サーバーの設定によって異なりますので、システム管理者にお問い合わせください。
インストール識別子	複数の「ガルーン 3」をインストールする場合に指定する、個々の「ガルーン 3」を識別するための文字列です。使用できる文字は、「a-z、A-Z、_ (アンダーバー)」と、その後に「0-9」(数字)をつけた文字列になります。識別子の長さは、10 文字以内です。
データベース管理ユーザー (cbroot) のパスワード	「ガルーン 3」のデータベースを管理するユーザーのパスワードです。「ガルーン 3」そのもののユーザーではなく、システムで内部的に使用されるユーザーです。
データベース接続ユーザーのパスワード	「ガルーン 3」のデータベースに接続をするユーザーのパスワードです。「ガルーン 3」そのもののユーザーではなく、システムで内部的に使用されるユーザーです。

## 1.6 ネットワークの設定について

「ガルーン 3」では、TCP/IP を利用してデータベースエンジンと通信します。安全のため、次の内容に注意して設定を行ってください。

### 重要

- 「ガルーン 3」の CGI プログラムとデータベースエンジンは、TCP/IP を使用して通信します。  
通常はポート番号 3770 を使用します（インストールした環境によって、異なるポート番号が設定されている場合があります）。  
データベースエンジンが通信に使用するポートは、外部に公開しないでください。

「ガルーン 3」が利用するプロトコルは、HTTP、または HTTPS です。「ガルーン 3」をファイアウォール経由で利用する場合、ご利用の環境にあわせて、HTTP（一般的には 80）、または HTTPS（一般的には 443）ポートのみ開けてください。

### 補足

- データベースエンジンのポート番号は、「データベースサーバー設定ファイル（my.ini）」でも確認できます。既定のディレクトリにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリにあります。
  - ・ Windows 環境 : C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini
  - ・ Linux 環境 : /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

[mysql] port	= 3770	データベースエンジンの ポート番号
-----------------	--------	----------------------

- データベースエンジンのポート番号は、通常では 3770 ポートが設定されますが、インストールした環境によっては、別のポート番号が設定されることもあります。インストール時の画面表示またはデータベースエンジン設定ファイル（my.ini）でポート番号を確認してください。



# Windows 環境へのインストール

# 2

「Galoon 3」を Windows 環境にインストールする方法について説明します。Linux 環境にインストールする場合は、「第 3 章 Linux 環境へのインストール」(P.31)を参照してください。

---

2.1	インストールする前の確認 .....	24
2.2	Windows 環境へインストールする.....	25

## 2.1 インストールする前の確認

ここでは、次のように Web サーバーのディレクトリが配置されていることを前提として説明します (IIS 6.0 を例とします)。違うディレクトリに配置されている場合は、ここで説明されているディレクトリを参考にして、適宜読み替えてください。

Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリ	C:¥Inetpub¥scripts
Web サーバーのドキュメントルート	C:¥Inetpub¥wwwroot

インストールを始める前に、次の点を確認してください。

● **Web サーバーはインストールされていますか？**

あらかじめ対応 Web サーバーをインストールして、CGI が実行できるように設定してください。

「対応 Web サーバー」→ P.8

● **インストールに必要な権限はありますか？**

インストールは、Windows の「Administrator」権限を持つユーザーで行ってください。

 **注意**

- インストール作業は、すべての Windows プログラムを終了してから行ってください。

 **補足**

- IIS (Internet Information Services) をインストールする方法については、弊社 Web サイトで紹介しています。  
「Web サーバーのインストール方法」→  
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webinstall/>
- 「ガールーン 3」のインストーラーは、弊社 Web サイトから、サーバーの OS にあわせてダウンロードしてください。  
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>

## 2.2 Windows 環境へインストールする

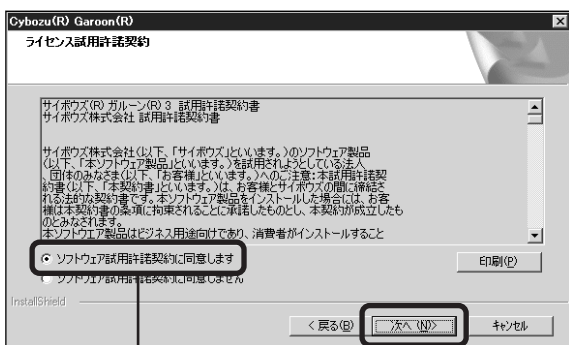
インストールする前に、必ず「インストールする前の確認」(P.24) を参照してください。  
バージョンアップする場合は、「Windows 環境でのバージョンアップ」(P.50) を参照してください。

- 1 インストーラー「grn-3.0.0-windows.exe」または「grn-3.0.0-windows-x64.exe」を起動する
- 2 インストールを続行する場合は **次へ(N) >** をクリックする



クリック

- 3 製品の試用許諾契約を確認し、同意する場合は「ソフトウェア試用許諾契約に同意します」を選択し、**次へ(N) >** をクリックする

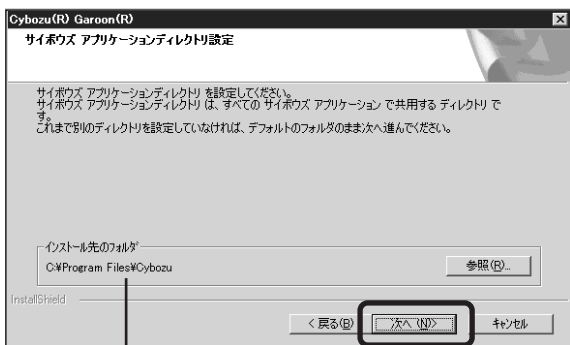


同意する場合、「ソフトウェア試用許諾契約に同意します」を選択する

クリック

- ※ 試用許諾契約に同意しない場合、**キャンセル** をクリックしてください。インストーラーが終了します。
- ※ 1つ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

#### 4 「ガルーン 3」のインストールディレクトリを確認し、**次へ(N) >** をクリックする

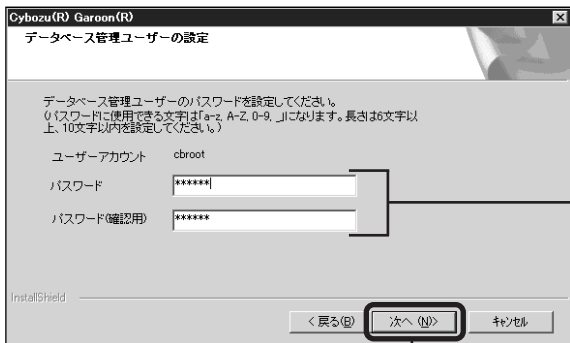


インストールディレクトリを確認する

クリック

- ※ インストールディレクトリを変更する場合、**参照(R)...** をクリックしてディレクトリを指定してください。
- ※ インストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。
- ※ 1つ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

#### 5 データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、**次へ(N) >** をクリックする



確認用とあわせて、2回データベース管理ユーザーのパスワードを入力する

クリック

- ※ データベース管理ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れた場合、パスワードの再設定や「ガルーン 3」を別のサーバーに移行することができません。
- ※ インストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。
- ※ 1つ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

## 6 インストール識別子を確認し、**次へ(N) >** をクリックする

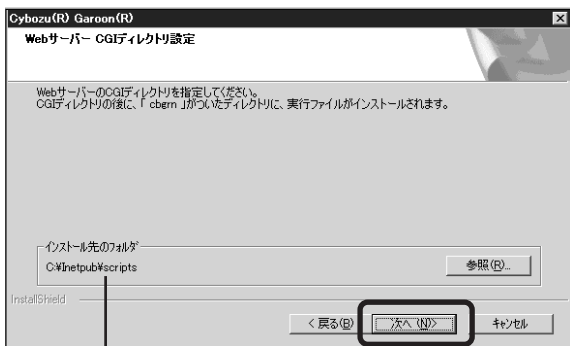


インストール識別子を確認する

クリック

- ※ すでに「ガルーン 3」をインストールしている場合、既存の識別子と異なる識別子を入力してください。
- ※ 試用を除いて、1 台のサーバーに複数の「ガルーン 3」をインストールした状態での運用は避けてください。
- ※ ここで入力したインストール識別子が「ガルーン 3」にアクセスする URL に使われます。
- ※ インストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。
- ※ 1 つ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。
- ※ 「Web サーバーをインストールしますか？」のメッセージが表示された場合、**はい(Y)** をクリックすると Web サーバーをインストールできます。  
「Web サーバーのインストールについて」→ P.30

## 7 WebサーバーのCGI実行可能ディレクトリを確認し、**次へ(N) >** をクリックする



CGI 実行可能ディレクトリを確認する

クリック

- ※ CGI 実行可能ディレクトリを変更する場合、**参照(R)...** をクリックしてディレクトリを指定してください。
- ※ インストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。
- ※ 1 つ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

### 8 Webサーバーのドキュメントルートを確認し、**次へ(N) >** をクリックする



ドキュメントルートを確認する

クリック

- ※ ドキュメントルートを変更する場合、**参照(B)...** をクリックしてディレクトリを指定してください。
- ※ インストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。
- ※ 1 つ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

### 9 手順 4 ~ 8 で設定した内容と表示された内容に間違いがないかを確認し、**インストール** をクリックする

インストールが始まります。



設定内容を確認する

クリック

- ※ インストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。
- ※ 1 つ前の画面に戻る場合、**< 戻る(B)** をクリックします。

- 10 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されたら、**完了** をクリックする

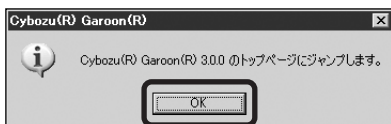


クリック

- 11 「Cybozu(R) Garoon(R) 3.0.0のトップページにジャンプします。」というダイアログが表示されるので、**OK** をクリックする

続いて、初期設定を行います。

「第4章 インストール後の初期設定」→P.37




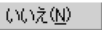
クリック

## 補足

- インストールできない旨のメッセージが表示された場合は、「インストールする前の確認」(P.24)の内容を確認してください。
- インストールした「ガルーン 3」にアクセスしたとき、正常に画面が表示されない場合は、次の設定内容を確認してください。
  - ・ Web サーバーに仮想ディレクトリが正しく設定されているかどうか
  - ・ Web サーバーのドキュメントルートのアクセス権が正しく設定されているかどうかWeb サーバーに仮想ディレクトリを設定する方法については、弊社 Web サイトで紹介しています。  
「仮想ディレクトリの作成方法」 → <http://manual.cybozu.co.jp/tech/webaliases/>
- 「ガルーン 3」をインストールすると、ログが出力されます。ログの出力先は次のとおりです。
  - ・ 「ガルーン 3」 および 「CyDE2」 のインストール結果：  
C:¥WINDOWS¥system32¥\_cb\_installer.log

## ■ Web サーバーのインストールについて

Web サーバーがインストールされていない／停止している場合は、手順 6 の後に「Web サーバーをインストールしますか？」のメッセージが表示されます。

 をクリックすると、Web サーバーがインストールされます。Web サーバーをインストールしない場合、 をクリックします。

※ Web サーバーのインストールとともに、「ガルーン 3」のインストールも中止されます。



Web サーバーをあわせてインストールした場合、初期設定で次のように Web サーバーのディレクトリが配置されます。

Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリ：

C:¥Program Files¥Cybozu¥Apache2.2¥cgi-bin

Web サーバーのドキュメントルート：

C:¥Program Files¥Cybozu¥Apache2.2¥htdocs

※ あわせてインストールされる Web サーバーのサービス名は、「Apache2」になります。

# Linux 環境へのインストール

# 3

「ガルーン 3」を Linux 環境にインストールする方法について説明します。Windows 環境にインストールする場合は、「第 2 章 Windows 環境へのインストール」(P.23)を参照してください。

---

3.1	インストールする前の確認 .....	32
3.2	Linux 環境へインストールする .....	33

## 3.1 インストールする前の確認

ここでは、次のように Web サーバーのディレクトリが配置されていることを前提として説明します (Red Hat Enterprise Linux AS の Apache を例とします)。違うディレクトリに配置されている場合は、ここで説明されているディレクトリを参考にして、読み替えてください。

Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリ	/var/www/cgi-bin
Web サーバーのドキュメントルート	/var/www/html

インストールを始める前に、次の点を確認してください。

### ● Web サーバーはインストールされていますか？

あらかじめ対応 Web サーバーをインストールして、CGI が実行できるように設定してください。

「対応 Web サーバー」 → P.8

### ● インストールに必要な権限はありますか？

インストールは、「root」ユーザーで行ってください。

### ■ SELinux について

SELinux が有効な状態では、「ガルーン 3」は正常に動作しません。

「ガルーン 3」を利用するには、SELinux を無効にする必要があります。

### 補足

- 「ガルーン 3」のインストーラーは、弊社 Web サイトから、サーバーの OS にあわせてダウンロードしてください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>

## 3.2 Linux 環境へインストールする

インストールする前に、必ず「インストールする前の確認」(P.32)を参照してください。  
バージョンアップする場合は、「Linux 環境でのバージョンアップ」(P.54)を参照してください。

**1** インストーラー「grn-3.0.0-linux.bin」または「grn-3.0.0-linux-x64.bin」(64bit 版)が存在するディレクトリに移動する

**2** インストーラー「grn-3.0.0-linux.bin」または「grn-3.0.0-linux-x64.bin」(64bit 版)を実行する

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.0.0-linux.bin
```

**3** 表示された内容にしたがって、Y または N キーを押し、Enter キーを押す

```
この日本語が読める場合は Y を入力してください。
Can you read the above Japanese text? (if not, type 'N')
Y
```

**4** [Space] または Enter キーを押して製品の試用許諾契約を確認し、同意する場合は「yes」と入力し、Enter キーを押す

```
以上の試用許諾条件に同意しますか？
[yes or no]: yes
```

※ 試用許諾契約に同意しない場合、「no」と入力し、Enter キーを押してください。インストーラーが終了します。

**5** インストール識別子を入力し、Enter キーを押す

```
インストール、またはアンインストールするアプリケーションの識別子を入力してください。
```

```
新規にインストールする場合は、新しい識別子を入力してください。
インストール識別子はインストールごとに異なる必要があります。
使用できる文字は「a-z, A-Z, _」, またはその後に「0-9」をつけたものです。
識別子の長さは 10 文字以内としてください。
```

```
バージョンアップ、またはアンインストールする場合は、すでにインストールされているアプリケーションの識別子を入力してください。
[cbgrn]:
```

インストール識別子を入力する

※ すでに「ガルーン 3」をインストールしている場合、既存の識別子と異なる識別子を入力し、Enter キーを押してください。

※ ここで入力したインストール識別子が「ガルーン 3」にアクセスする URL に使われます。

※ 試用を除いて、1 台のサーバーに複数の「ガルーン 3」をインストールした状態での運用は避けてください。

## 6 「ガルーン 3」の常駐プログラムとデータのインストールディレクトリを確認し、Enter キーを押す

常駐プログラムとデータのディレクトリを指定してください。  
データサイズが大きくなるため、ディスク空き容量に注意してください。  
[/usr/local/cybozu]:

インストールディレクトリを確認する

- ※ インストールディレクトリを変更する場合、ディレクトリを絶対パスで入力し、Enter キーを押してください。

## 7 データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押す 確認用を含めて 2 回同じ操作を繰り返してください。

データベース管理ユーザー (cbroot) のパスワードを設定してください。  
パスワードに使用できる文字は「a-z, A-Z, 0-9, \_」です。  
長さは 6 文字以上、10 文字以内を設定してください。

New Password: cbadmin  
Retype Password: cbadmin

データベース管理  
ユーザーのパスワー  
ドを 2 回入力する

- ※ データベース管理ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れた場合、パスワードの再設定や「ガルーン 3」を別のサーバーに移行することができません。

## 8 Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリを確認し、Enter キーを押す

CGI プログラムのディレクトリを指定してください。  
実際のインストール先は「(CGI ディレクトリ)/cbgrn」です。  
例 : /var/www/cgi-bin/cbgrn  
[/var/www/cgi-bin]:

CGI 実行可能ディレクトリを確認する

- ※ CGI 実行可能ディレクトリを変更する場合、ディレクトリを絶対パスで入力し、Enter キーを押してください。

## 9 Web サーバーのドキュメントルートを確認し、Enter キーを押す

画像ファイルなどを保存するドキュメントルートを指定してください。  
実際のインストール先は「(ドキュメントルート)/cbgrn」です。  
例 : /var/www/html/cbgrn  
[/var/www/html]:

ドキュメントルートを確認する

- ※ ドキュメントルートを変更する場合、ディレクトリを絶対パスで入力し、Enter キーを押してください。

## 10 Webサーバーの実行ユーザー名を確認し、Enter キーを押す

```
HTTPサーバーの実行ユーザー名を指定してください。
[apache]:
```

Webサーバーの実行ユーザーを確認する

※ Webサーバーの実行ユーザー名が異なる場合、正しい実行ユーザー名を入力し、Enter キーを押してください。

## 11 手順5～10で設定した内容と表示された内容に間違いがないかを確認し、正しければ「yes」と入力しEnter キーを押す

インストールが始まります。

```
Summary of install configuration
```

```
常駐プログラムのインストール先: /usr/local/cybozu
データベース管理ユーザー: cbroot
インストール識別子: cbgrn
HTTPサーバーのユーザー名: apache
CGIプログラムのインストール先: /var/www/cgi-bin/cbgrn
画像ファイルのインストール先: /var/www/html/cbgrn
データベースとの通信用ポート番号: 3770
スケジューリングサービス起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn
アプリケーション削除スクリプト: /var/www/cgi-bin/cbgrn/uninstall_cbgrn
データベースエンジン起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
データベースエンジン削除スクリプト: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/uninstall_cyde_5_0
```

設定内容を  
確認する

```
この設定でインストールを開始してよろしいですか？
[yes or no]: yes
```

※ 「no」と入力しEnter キーを押すと、インストーラーが終了します。

## 12 インストールが正常に終了したかを確認する

```
Installing Cybozu Database Engine...
Installing CGI...
Installing Cybozu Scheduling Service...
Installing Web files...
Copying license files...
Installing uninstall scripts...
```

```
インストールは正常に終了しました。
Web ブラウザーを起動し、次のURLにアクセスしてください。
```

```
http://(サーバーの FQDN、またはIP アドレス)/(CGIディレクトリの仮想パス)/cbgrn/
grn.cgi
```

```
例 )http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
例 )http://10.10.203.55/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
```

```
[root@garoon admin]#
```

## 補足

- インストールできない旨のメッセージが表示された場合は、「インストールする前の確認」(P.32)の内容を確認してください。
- インストールした「ガルーン 3」にアクセスしたとき、正常に画面が表示されない場合は、次の設定内容を確認してください。
  - ・ Web サーバーに仮想ディレクトリが正しく設定されているかどうか
  - ・ Web サーバーのドキュメントルートのアクセス権が正しく設定されているかどうかWeb サーバーに仮想ディレクトリを設定する方法については、弊社 Web サイトで紹介しています。  
「仮想ディレクトリの作成方法」 → <http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>
- 「ガルーン 3」をインストールすると、ログが出力されます。ログの出力先は次のとおりです。
  - ・ 「ガルーン 3」のインストール結果：(インストーラーを実行したディレクトリ) /  
install.log
  - ・ CyDE2 のインストール結果 : (インストーラーを実行したディレクトリ) /  
install\_cyde.log

## 3.2

# インストール後の初期設定

# 4

「ガルーン 3」のインストールが終わったら、Administrator（スーパーユーザー）のパスワードを設定し、「ガルーン 3」を初期化します。その後、システム管理者とお客様情報を登録します。

4.1 「ガルーン 3」を初期化する .....	38
4.2 お客様情報を登録する .....	41
4.3 システム管理者を登録する .....	43
4.4 データベースエンジンの設定を変更する .....	47
4.4.1 my.ini ファイルを変更する .....	48

## 4



## 2 「ガルーン システムの初期化」画面で必要な項目を入力し、**初期化する** をクリックする

「ガルーン 3」が初期化されます。

Baroon

サイボウズ ガルーン をご利用いただきありがとうございます。  
ご利用を開始する前に、システムを初期化する必要があります。

「データベース管理ユーザー」はデータベースに対するすべての権限を持つユーザーです。  
このユーザーのパスワードは、インストール時に設定したパスワードを入力してください。

「データベース接続ユーザー」は実際にデータベースへの接続を行うユーザーです。

「Administrator」はシステム全体の管理権限を持つユーザーです。  
これらのパスワードは厳重に管理してください。

データベース管理ユーザー	cbroot
データベース管理ユーザーのパスワード:	*****
データベース接続ユーザー:	cb_cbgm
データベース接続ユーザーのパスワード:	*****
データベース接続ユーザーのパスワード(確認用):	*****
「Administrator」のパスワード:	*****
「Administrator」のパスワード(確認用):	*****

**初期化する**

インストール時に設定した  
パスワードを入力する

確認用とあわせて、2回  
データベース接続ユーザー  
のパスワードを入力する

確認用とあわせて、2回  
Administrator のパスワ  
ードを入力する

入力後、クリック

- ※ データベース接続ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れた場合、パスワードの再設定や「ガルーン 3」を別のサーバーに移行することができません。

## 3 インストールするデータを選択し、**次へ** をクリックする

Web ブラウザーの表示言語に日本語を設定している場合のみ、データをインストールできます。ほかの表示言語を設定している場合は、手順 4 に進んでください。

Baroon

初期化したサイボウズ ガルーンにデータをインストールできます。  
インストールするデータを選択してください。

標準+サンプルデータ  
祝日などの標準的なデータとユーザーやポータルなどのサンプルデータをインストールします。サイボウズ ガルーンをすぐに試すことができます。

標準

サンプルデータが不要な場合、こちらを選択してください。祝日などの標準的なデータをインストールします。  
何もインストールしない。

**次へ**

インストールするデータを  
選択する

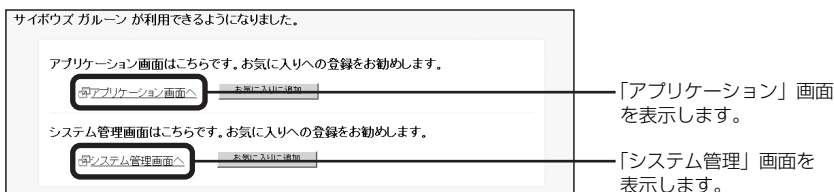
クリック

- ※ データをインストールしない場合、「何もインストールしない」を選択します。
- ※ インストールするデータについては、「標準/サンプルデータについて」(→ P.40)を参照してください。

### 4.1

「ガルーン 2」を初期化する

## 4 初期化が完了し、システム管理画面およびアプリケーション画面へのリンク画面が表示されることを確認する



4.1

「ガルーン 2」を初期化する

### 補足

- Internet Explorer を使用している場合は、手順 4 のリンク画面で [お気に入りへ追加] が表示されます。クリックすると、システム管理画面やアプリケーション画面の URL が、お気に入りへ追加されます。

### 標準／サンプルデータについて

「ガルーン 3」をよりご理解いただくために、標準データおよびサンプルデータを用意しています。「ガルーン 3」の機能をすぐに試したい方は、次のデータをインストールしてください。

サンプルデータ	ユーザーやスケジュール、掲示板などのデータがあらかじめ登録されています。このデータをインストールすると、あらかじめ登録されたユーザーを使用して、これらのデータを参照したり機能を試すことができます。
標準データ	カレンダーや予定メニューのデータなどがあらかじめ登録されています。新規にユーザーを登録してお使いになる場合は、標準データのみのインストールを推奨します。

### 標準／サンプルデータの削除について

インストール時にサンプルデータをあわせてインストールしている場合、次の URL からサンプルデータを削除できます。

- Windows 環境

[http://\(サーバーのIPアドレスまたはホスト名\)/scripts/cbgrn/grn.exe/initialize](http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/scripts/cbgrn/grn.exe/initialize)

- Linux 環境

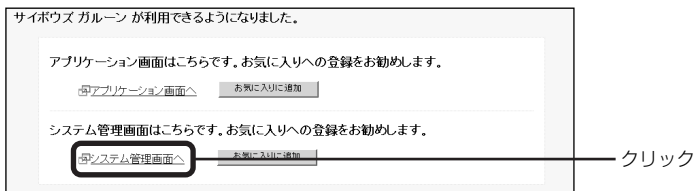
[http://\(サーバーのIPアドレスまたはホスト名\)/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/initialize](http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/initialize)

※ 初期化すると、登録したデータもすべて削除されますので、ご注意ください。

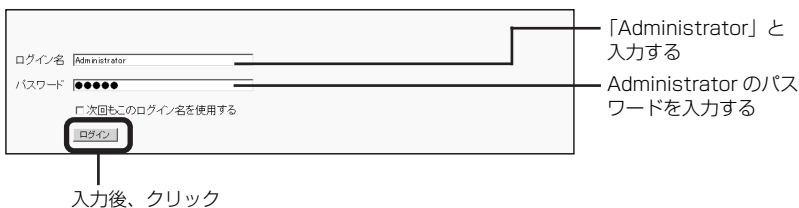
## 4.2 お客様情報を登録する

「ガルーン 3」の初期化が終わったら、続いてお客様情報を登録します。

### 1 リンク画面でシステム管理画面へをクリックする

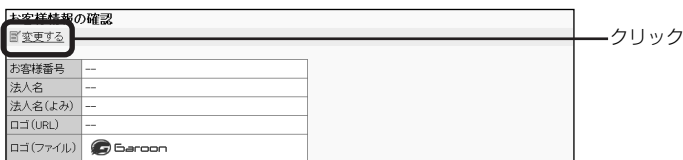


### 2 Administrator (スーパーユーザー) のログイン名とパスワードを入力し、**ログイン** をクリックする



### 3 「システム管理」画面で **基本システムの管理** → **お客様情報の順**にクリックし、**お客様情報の確認**をクリックする

### 4 **変更する** をクリックする



### 5 必要な項目を入力し、 **変更する** をクリックする

「\*」が付いている項目は必ず入力してください。

お客様情報の変更  
お客様情報を入力してください。

お客様番号

法人名

法人名(よみ)

ロゴ(URL)

ロゴ(ファイル)  **参照**

**変更する** **キャンセルする**

※ 独自のロゴを利用する場合は、ロゴイメージのURLもしくはファイルのどちらかを指定してください。  
※ ファイルを指定すると、通常より表示に時間がかかります。

法人名を入力する

法人名のよみを入力する

Webサーバーにある画像を設定する場合はURLを入力する

入力後、クリック

パソコンにある画像を設定する場合、そのファイルを選択する




※ お客様情報の変更を中止する場合は、 **キャンセルする** をクリックします。

#### 注意

- ロゴ画像をファイル形式で指定すると、「ガールーン 3」のデータにアクセスした際、同時に画像ファイルを保存しているデータへのアクセスも行います。このため、サーバーに対する同時アクセス数が増加し、サーバーのパフォーマンスが低下する可能性があります。ロゴの画像ファイルは、URL で指定することを推奨します。

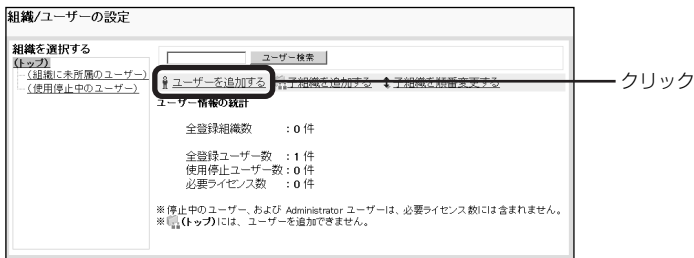
## 4.3 システム管理者を登録する

続いてシステム管理者を登録し、システム管理者に Administrators ロールを所持させます。Administrators ロールを所持させることで、登録したユーザーがシステム管理者として操作できるようになります。

**1** 「システム管理」画面で  基本システムの管理 →  ユーザーの順にクリックし、 組織/ユーザーの設定をクリックする

**2**  ユーザーを追加するをクリックする

※ 登録したユーザーは、(組織に未所属のユーザー) に所属します。



4.3

システム管理者を登録する

### 3 必要な項目を入力し、**追加する** をクリックする

「\*」が付いている項目は必ず入力してください。

※ ユーザーの追加を中止する場合、**キャンセルする** をクリックします。

#### ● ユーザー情報の入力項目

項目	項目説明
名前	ユーザーの名前を入力します。
ログイン名	ユーザーのログイン名を入力します。すでに登録されているユーザーのログイン名と同じログイン名は使用できません。
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。
パスワード (確認)	確認のため、同じパスワードを入力します。
所属組織	ユーザーの所属する組織を変更します。
優先する組織	「優先する組織」を選択します。
表示優先度	ユーザーの一覧画面で表示する優先度を「0 (ゼロ)」以上の整数で入力します。
使用の停止	ユーザーとしてのアカウントを停止する場合、チェックを入れます。チェックを入れると、そのユーザーは「ガルーン 3」にアクセスできなくなります。
よみ	ユーザーのよみを入力します。
E-mail	ユーザーの E-mail アドレスを入力します。
メモ	ユーザーに関するメモを入力します。
役職	ユーザーの役職を入力します。
連絡先	ユーザーの連絡先を入力します。
URL	ユーザーまたはユーザーに関連する Web サイトの URL を入力します。
画像	ユーザーの写真など、ユーザーの画像ファイルを選択します。

※ ユーザー情報の入力項目については、『管理者マニュアル』の「ユーザーを管理する」を参照してください。

続いて、登録したユーザーに Administrators ロールを所持させます。

## 4.3

## 4 ユーザーをクリックする

システム管理(基本システム) > ユーザー > 組織/ユーザーの設定

組織/ユーザーの設定

組織を選択する

ユーザー検索

ユーザーを追加する 所属ユーザーを変更する

未所属ユーザー (1-2 件表示 / 2 件中)

先頭へ | <<前の 20 件へ | 次の 20 件へ>>

ユーザー名	ログイン名	表示優先度	使用状態	ユーザー情報
Administrator	Administrator	0	使用中	変更 削除
芥川 (はじめ)	akutagawa	なし	使用中	変更 削除

ユーザーを追加する  
所属ユーザーを変更する

先頭へ | <<前の 20 件へ | 次の 20 件へ>>

## 5 ロールを設定をクリックする

## 6 Administrators をクリックし、 ロールを所持させるをクリックする

ロールの設定

グループを運用/管理するためのロールを設定します。  
ロールを追加して、ユーザーに所持させてください。

ロールを追加する ロールを所持させる ロールを順序変更する 全ロールを削除する

ロール一覧

Administrators 詳細

付与ユーザー (1-1 件表示 / 1 件中)

ユーザー名	ログイン名
Administrator	Administrator

先頭へ | <<前の 20 件へ | 次の 20 件へ>>  
チェックした項目を **削除する**

## 7 (組織に未所属のユーザー) をクリックする

ロールの所持

ロール「Administrators」を所持させるユーザーを選択してください。

組織を選択する

ユーザー検索

(組織に未所属のユーザー)

所属ユーザー一覧  
先頭へ | <<前の 10 件へ | 次の 10 件へ>>

先頭へ | <<前の 10 件へ | 次の 10 件へ>>

追加 削除

所持させる キャンセルする

## 8 システム管理者にするユーザーを選択し、**↓ 追加** をクリックする

The screenshot shows a web interface for managing roles. At the top, it says 'ロールの所持' (Roles) and 'ロール「Administrators」を所持させるユーザーを選択してください。' (Please select users to be assigned the role 'Administrators'). Below this is a section titled '組織を選択する' (Select Organization) with a search box and a 'ユーザー検索' (Search Users) button. To the right, a list of '未所属ユーザー一覧 (1-2 件表示 / 2 件中)' (Unassigned Users List) is shown, containing two entries: 'Administrator (Administrator)' and '芹川 ほじゆ (akutecena)'. The second entry is selected. Below the list are navigation buttons: '先陣へ' (Previous), '<<前の10件へ' (Previous 10 items), and '次の10件へ>>' (Next 10 items). At the bottom of the list area are two buttons: '↓ 追加' (Add) and '↑ 削除' (Remove). Below the list area are two buttons: '所持させる' (Assign) and 'キャンセルする' (Cancel). Two callout lines point to the '↓ 追加' button and the 'Administrator (Administrator)' entry, with the text 'システム管理者にするユーザーを選択する' (Select user to be made system administrator) and '選択後、クリック' (Click after selection) respectively.

※ 候補に追加したユーザーを解除する場合、下の欄から解除するユーザーを選択し、**↑ 削除** をクリックします。

## 9 **所持させる** をクリックする

※ ロールの所持を中止する場合、**キャンセルする** をクリックします。

### 4.3

## 4.4 データベースエンジンの設定を変更する

mysqld の設定を変更する場合は、データベースサーバーの設定ファイル (my.ini) を変更します。

データベースエンジンがインストールされているサーバーマシンのメモリ量 (搭載メモリ量) によって、my.ini ファイルの設定値が異なります。

### ● 搭載メモリ量が 4GB 未満の場合の設定値

「ガルーン 3」を新規でインストールすると、my.ini ファイルの設定値は、搭載メモリ量に合わせて自動的に設定されます。

### ● 搭載メモリ量が 4GB 以上の場合の設定値

「ガルーン 3」を新規でインストールしたあと、my.ini ファイルに適切な値を設定すると、パフォーマンスの向上が見込めます。

搭載メモリ量、「ガルーン 3」が使用するメモリ量、および my.ini ファイルに設定する推奨値は、次のとおりです。

		搭載メモリ量					
		4～8GB	8～12GB	12～16GB	16～24GB	24～48GB	48GB以上
メモリ							
「ガルーン 3」の使用メモリ量		2GB	5.2GB	8.4GB	12GB	18GB	36GB
my.ini ファイルの 設定値 (推奨値)	sort_buffer_size	1M	1M	1M	1M	1M	1M
	join_buffer_size	3M	3M	3M	3M	3M	3M
	read_buffer_size	1M	1M	1M	1M	1M	1M
	read_rnd_buffer_size	2M	2M	2M	2M	2M	2M
	thread_cache_size	50	50	50	50	50	50
	max_connections	50	50	50	50	50	50
	innodb_buffer_pool_size	1500M	4500M	7800M	11500M	17600M	36100M

## 重要

- OS やほかのシステムが使用するメモリ量を考慮し、サーバーマシンで使用するメモリ量の合計が、搭載メモリ量未満になるように、それぞれの値を設定してください。

## 注意

- 32 ビット OS で 4GB 以上のメモリを搭載している場合は、搭載メモリ量が 4GB の場合の推奨値を設定してください。

## 補足

- my.ini ファイルの設定変更について、詳しい情報が必要な場合は、オフィシャルパートナーまたは販売元にお問い合わせください。  
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

### 4.4.1 my.ini ファイルを変更する

サーバーマシンの搭載メモリ量が 4GB 以上だった場合は、my.ini ファイルに、サーバーマシンに適した値を設定します。

#### 1 次のサービスを停止する

- ・スケジューリングサービス
- ・データベースエンジン

「サービスの停止／起動／再起動方法」→ P.71

#### 2 my.ini ファイルをバックアップする

既定のディレクトリにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリにあります。

- ・ Windows 環境 : C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini
- ・ Linux 環境 : /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

#### 3 my.ini ファイルの値を変更する

「搭載メモリ量が 4GB 以上の場合の設定値」→ P.47

#### 4 次のサービスを起動する

- ・データベースエンジン
- ・スケジューリングサービス

「サービスの停止／起動／再起動方法」→ P.71

「ガルーン 3」にバージョンアップする手順について説明します。

5.1	Windows 環境でのバージョンアップ .....	50
5.2	Linux 環境でのバージョンアップ .....	54
5.3	バージョンアップ後に行う作業 .....	58
5.3.1	更新プログラムを実行する .....	58
5.3.2	テーブルキャッシュサイズを変更する .....	62
5.3.3	認証パスワードを再設定する .....	63
5.3.4	ライセンスを登録する .....	64

## 5.1 Windows 環境でのバージョンアップ

---

ガルーンを、バージョン 2.5.x から 3.0.0 にバージョンアップする方法を説明します。バージョンアップは Windows の「Administrator」権限をもつユーザーで行う必要があります。ここでは、インストール識別子に「cbgrn」が使用されていることを前提として説明します。

### 重要

- ガルーンを、バージョン 2.1.3 以前から 3.0.0 にバージョンアップする場合は、専用のプログラムを使用します。バージョンアップに使用するプログラムおよびマニュアルは、弊社 Web サイトからダウンロードできます。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/versionup/>

作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

---

### 注意

- バージョンアップする前に、運用中のガルーンのデータを必ずバックアップしてください。バックアップについては、『管理者マニュアル』の「[ガルーン 3] の保守」を参照してください。
  - バージョンアップの実行中は、バージョンアップを中止しないでください。
- 

### 補足

- バージョンアップには、「ガルーン 3」のインストーラーを使用します。「ガルーン 3」のインストーラーは、弊社 Web サイトから、サーバーの OS にあわせてダウンロードしてください。

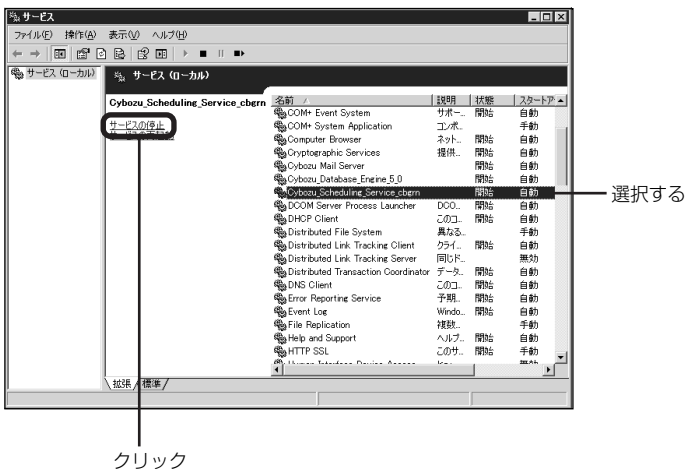
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>

### 1 サーバマシンの Web サーバーを停止する

### 2 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] → [管理ツール] → [サービス] を選択する

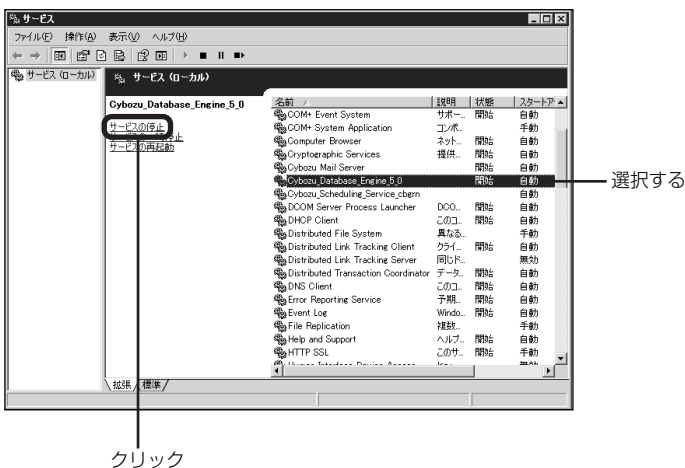
### 3 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックする

スケジューリングサービスが停止します。



### 4 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックする

データベースが停止します。

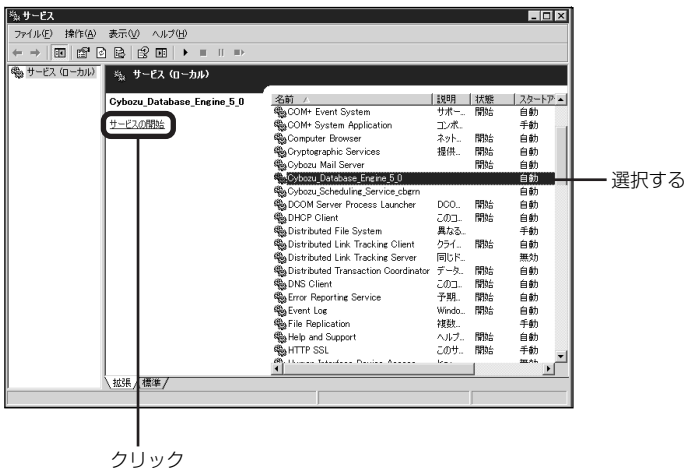


### 5 運用中のガールのデータをバックアップする

バックアップについては『管理者マニュアル』の「[ガールーン 3] の保守」を参照してください。

## 6 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックする

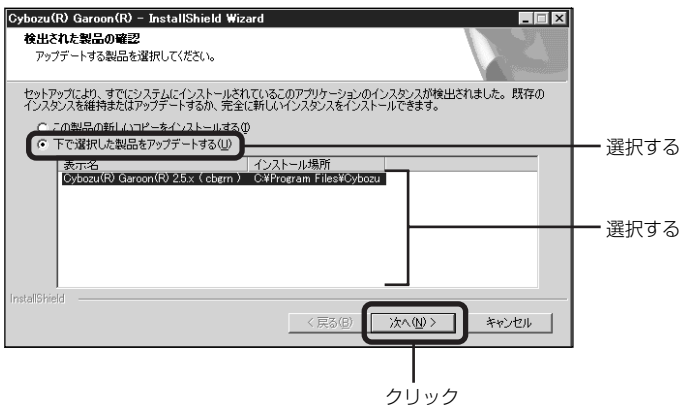
データベースを開始します。



※ サービスを開始した後に必ずサービスのウィンドウを閉じてください。ウィンドウを閉じずに作業を続行すると、バージョンアップに失敗する場合があります。

## 7 インストーラー「grn-3.0.0-windows.exe」、または「grn-3.0.0-windows-x64.exe」を起動する

## 8 「下で選択した製品をアップデートする」を選択し、バージョンアップする製品を選択してから、[次へ(N) >]をクリックする



※ バージョンアップを中止する場合、[キャンセル]をクリックします。

## 9 「アップデートの完了」画面が表示されたら、**完了** をクリックする



## 10 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] → [管理ツール] → [サービス] を選択する

## 11 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」が起動していることを確認する スケジューリングサービスの状態が「開始」になっていることを確認します。

## 12 サーバマシンの Web サーバを起動する

## 13 バージョンアップ後に必要な作業を行う

「バージョンアップ後に行う作業」→ P.58

### 補足

- バージョンアップ中に「Cybozu(R) Garoon(R) のバージョン 3.0.0 がすでにインストールされています。…」のメッセージが表示された場合は、バージョンアップの必要はありません。  
 をクリックし、バージョンアップを中止します。
- バージョンアップを実行すると、ログが出力されます。ログの出力先は次のとおりです。
  - ・「ガルーン 3」および CyDE2 のインストール結果  
 : C:¥WINDOWS¥system32¥\_cb\_installer.log
  - ・バージョンアップ結果 : C:¥WINDOWS¥system32¥\_cb\_versionup.log
  - ・初期化の結果 : C:¥WINDOWS¥system32¥\_cb\_versionup\_after.log
  - ・MySQL のバージョンアップ結果  
 : C:¥WINDOWS¥system32¥\_cb\_versionup\_mark.log
- cb\_versionup\_mark.log は、ガルーンをバージョン 2.5.x から 3.0.0 にバージョンアップした場合に、出力されます。

## 5.2 Linux 環境でのバージョンアップ

ガルーンを、バージョン 2.5.x から 3.0.0 にバージョンアップする方法を説明します。バージョンアップは「root」ユーザーで行ってください。

ここでは、インストール識別子に「cbgrn」が使用されていることを前提として説明します。

### 重要

- ガルーンを、バージョン 2.1.3 以前から 3.0.0 にバージョンアップする場合は、専用のプログラムを使用します。バージョンアップに使用するプログラムおよびマニュアルは、弊社 Web サイトからダウンロードできます。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/versionup/>

作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

### 注意

- バージョンアップを行う場合、Web サーバーおよびスケジューリングサービスを停止した状態で行ってください。また、バージョンアップする前に、運用中のガルーンのデータを必ずバックアップしてください。バックアップについては、『管理者マニュアル』の「[ガルーン 3] の保守」を参照してください。
- Web サーバーの実行ユーザー（Apache など）が実行および書き込み可能なディレクトリに、インストーラーを配置してください。  
配置するディレクトリまでのすべてのディレクトリに、実行権限および書き込み権限が必要です。
- バージョンアップの実行中は、バージョンアップを中止しないでください。

### 補足

- バージョンアップには、「ガルーン 3」のインストーラーを使用します。「ガルーン 3」のインストーラーは、弊社 Web サイトから、サーバーの OS にあわせてダウンロードしてください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>

### 1 サーバマシンの Web サーバーを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd stop
```

### 2 スケジューリングサービスを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

### 3 データベースエンジンを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

### 4 運用中のガルーンのデータをバックアップする

バックアップについては『管理者マニュアル』の『「ガルーン 3」の保守』を参照してください。

### 5 データベースエンジンを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

### 6 インストーラー「grn-3.0.0-linux.bin」または「grn-3.0.0-linux-x64.bin」(64bit 版) が存在するディレクトリに移動する

### 7 インストーラー「grn-3.0.0-linux.bin」または「grn-3.0.0-linux-x64.bin」(64bit 版) を実行する

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.0.0-linux.bin
```

### 8 表示された内容にしたがって、[Y] または [N] キーを押し、[Enter] キーを押す

```
この日本語が読める場合は Y を入力してください。
Can you read the above Japanese text? (if not, type 'N')
Y
```

### 9 [Space] または [Enter] キーを押して製品の試用許諾契約を確認し、同意する場合は「yes」と入力し、[Enter] キーを押す

```
以上の試用許諾条件に同意しますか？
[yes or no]: yes
```

※ 試用許諾契約に同意しない場合は、「no」と入力し、[Enter] キーを押してください。インストーラーが終了します。

## 10 バージョンアップするインストール識別子を確認し、[Enter] キーを押す

次の識別子を持つアプリケーションがすでにインストールされています。

cbgrn

インストール、またはアンインストールするアプリケーションの識別子を入力してください。

新規にインストールする場合は、新しい識別子を入力してください。  
インストール識別子はインストールごとに異なる必要があります。  
使用できる文字は「a-z, A-Z, \_」, またはその後に「0-9」をつけたものです。  
識別子の長さは 10文字以内としてください。

バージョンアップ、またはアンインストールする場合は、すでにインストールされているアプリケーションの識別子を入力してください。

[cbgrn]:

すでにインストールしているインストール識別子です。

インストール識別子を確認する

※ 異なるインストール識別子を入力すると、新規インストールになります。

## 11 バージョンアップするために、「1」と入力し、[Enter] キーを押す

アプリケーション cbgrn はすでにインストールされています。

1: バージョンアップする

2: 通常アンインストールする (設定ファイルなど、カスタマイズ可能なリソースを残します)

3: 完全アンインストールする (すべてのリソースをディレクトリごと削除します)

[1] [2] [3]: 1

※ バージョンアップする場合、「1」を入力し、[Enter] キーを押します。

※ アンインストールする場合、「2」または「3」を入力し、[Enter] キーを押します。  
(→ P.70)

## 12 手順 10～11 で設定した内容と表示された内容に間違いがないかを確認し、正しければ「yes」と入力してから、[Enter] キーを押す

Summary of install configuration

常駐プログラムのインストール先:	/usr/local/cybozu
データベース管理ユーザー:	cbroot
インストール識別子:	cbgrn
HTTP サーバーのユーザー名:	apache
CGI プログラムのインストール先:	/var/www/cgi-bin/cbgrn
画像ファイルのインストール先:	/var/www/html/cbgrn
データベースとの通信用ポート番号:	3770
スケジューリングサービス起動スクリプト:	/etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn
アプリケーション削除スクリプト:	/var/www/cgi-bin/cbgrn_uninstall_cbgrn
データベースエンジン起動スクリプト:	/etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
データベースエンジン削除スクリプト:	/usr/local/cybozu/mysql-5.0/uninstall_cyde_5_0

この設定でインストールを開始してよろしいですか ?

[yes or no]: yes

内容を確認する

※ バージョンアップを中止する場合、「no」と入力し、[Enter] キーを押します。

## 13 バージョンアップが正常に終了したかを確認する

```
Installing Cybozu Database Engine...
Installing CGI...
Installing Cybozu Scheduling Service...
Installing Web files...
Copying license files...
Installing uninstall scripts...

インストールは正常に終了しました。
Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。

http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリの仮想パス)/cbgrn/
gm.cgi

例 )http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/gm.cgi
例 )http://10.10.203.55/cgi-bin/cbgrn/gm.cgi
[root@garoon admin]#
```

## 14 スケジューリングサービスが起動したことを確認する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrm status
```

## 15 サーバマシンの Web サーバーを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd start
```

## 16 バージョンアップ後に必要な作業を行う

「バージョンアップ後に行う作業」 → P.58

### 補足

- バージョンアップを実行すると、インストーラーを実行したディレクトリに、次のログファイルが出力されます。
  - ・「ガルーン 3」のインストール結果  
： / (インストーラーを実行したディレクトリ) /install.log
  - ・ CyDE2 のインストール結果  
： / (インストーラーを実行したディレクトリ) /install\_cyde.log

## 5.3 バージョンアップ後に行う作業

バージョンアップ後に必要な作業について説明します。元のバージョンによって、必要な作業が異なります。

### 5.3.1 更新プログラムを実行する

ガルーンを、バージョン 2.5.x から 3.0.0 にバージョンアップした場合は、`versionup3.csp`（更新プログラム）を実行する必要があります。

`versionup3.csp` を実行する前に「ガルーン 3」にアクセスすると、次の画面が表示されます。



#### 補足

- 更新プログラムが正常に終了すると、`versionup3.csp` は削除されます。

#### ■ Windows 環境の場合

コマンドラインで更新プログラムを実行します。

既定のディレクトリ（`C:\inetpub\scripts`）とインストール識別子（`cbgrn`）を使用した場合を例として、手順を説明します。

#### 1 サーバマシンの Web サーバを停止する

#### 2 スケジューリングサービスを停止する

「サービスの停止／起動／再起動方法」→ P.71

#### 3 コマンド プロンプトを起動する

#### 4 カレントディレクトリを変更する

カレントディレクトリを、`grn.exe` が配置されているディレクトリに変更します。

```
cd C:\inetpub\scripts\cbgrn
```

#### 5 コマンドラインで更新プログラムを実行する

```
grn.exe -C -q -f tmp\versionup_scripts\versionup3.csp
```

#### 6 データベース管理ユーザー（`cbroot`）のパスワードを入力する

「準備しておく情報について」→ P.20

#### 7 スケジューリングサービスを起動する

「サービスの停止／起動／再起動方法」→ P.71

## 8 サーバマシンの Web サーバーを起動する

## 9 実行結果を確認する

ログファイルを確認します。

例：C:\inetpub\scripts\cbgrn\versionup\_###.log

※ ### は 3 桁の数字を表します。

「ログの見かた」→ P.60

## ■Linux 環境の場合

コマンドラインで更新プログラムを実行します。

既定のディレクトリ（/var/www/cgi-bin）とインストール識別子（cbgrn）を使用した場合を例として、手順を説明します。

### 1 コンソールを起動する

### 2 サーバマシンの Web サーバーを停止する

/etc/init.d/httpd stop

### 3 スケジューリングサービスを停止する

「サービスの停止／起動／再起動方法」→ P.71

### 4 カレントディレクトリを変更する

カレントディレクトリを、grn.cgi が配置されているディレクトリに変更します。

cd /var/www/cgi-bin/cbgrn

### 5 コマンドラインで更新プログラムを実行する

./grn.cgi -C -q -f tmp/versionup\_scripts/versionup3.csp

### 6 データベース管理ユーザー（cbroot）のパスワードを入力する

「準備しておく情報について」→ P.20

### 7 スケジューリングサービスを起動する

「サービスの停止／起動／再起動方法」→ P.71

### 8 サーバマシンの Web サーバーを起動する

/etc/init.d/httpd start

### 9 実行結果を確認する

ログファイルを確認します。

例：/var/www/cgi-bin/cbgrn/versionup\_###.log

※ ### は 3 桁の数字を表します。

「ログの見かた」→ P.60

## ■ ログの見かた

ファイルの更新が正常に終了したかどうかを確認するために、ログファイルの内容を確認します。

ログファイルには、次の結果が出力されます。

- MySQL の更新結果
- 「ガルーン 3」で使用するデータの更新結果
- 更新プログラムの実行結果

既定のディレクトリに「ガルーン 3」をインストールしている場合は、次のファイルにログが出力されます。

OS	更新プログラムの実行結果	MySQL のエラー
Windows	C:\inetpub\scripts\cbgrn\versionup_###.log	C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\data\error.log
Linux	/var/www/cgi-bin/cbgrn/versionup_###.log	/usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/error.log

※ ### は 3 桁の数字を表します。

### ● versionup\_###.log の見かた

Windows 環境を例として説明します。

<pre>[Tue, 13 Jul 2010 13:01:46 +0900] DB root password corrected! [Tue, 13 Jul 2010 13:01:46 +0900] start upgrading mysqldb [Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] execute mysql upgrade command finished. [Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] Looking for 'mysql.exe' as: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysql.exe [Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] Looking for 'mysqlcheck.exe' as: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysqlcheck.exe [Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] Running 'mysqlcheck' with connection arguments: "--port=3770" "--host=127.0.0.1" [Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] Running 'mysqlcheck' with connection arguments: "--port=3770" "--host=127.0.0.1" [Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] cb_cbgrn_table_info          OK [Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] cb_cbgrn.tab_cb_backupmode  OK (省略) [Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] end upgrading mysqldb [Tue, 13 Jul 2010 13:03:33 +0900] 20100713 13:03:30 [INFO] Started updating.  20100713 13:03:30 [INFO] Started grn3.0.0_local_main. 20100713 13:03:30 [INFO] Updated the version number of system attribute. 3.0.0 20100713 13:03:30 [INFO] Successeed to delete table 'tab_grn_message_addressees' (省略) 20100713 13:03:33 [INFO] Finished updating.  [Tue, 13 Jul 2010 13:03:40 +0900] 20100713 13:03:34 [INFO] Started updating after installation. 20100713 13:03:34 [INFO] Deleting old time zone data. (省略) 20100713 13:03:40 [INFO] Finished updating after installation.  [Tue, 13 Jul 2010 13:03:40 +0900] start removing versionup scripts [Tue, 13 Jul 2010 13:03:40 +0900] end removing versionup scripts</pre>	<p>MySQL の 更新結果</p> <p>「ガルーン 3」で 使用するデータの 更新結果</p> <p>更新プログラムの 実行結果</p>
---	---

バージョンによって、更新プログラムがデータベースを修正する場合があります。データベースが修正されると次のログが出力されますが、処理は正常に終了しています。

```
mysql.help_category
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE 'help_category'" or dump/
reload to fix it!
(省略)
Repairing tables
mysql.help_category          OK
mysql.help_keyword          OK
mysql.help_topic             OK
mysql.proc                   OK
mysql.time_zone_name        OK
```

ステータス

### 注意

- 「INFO」か「OK」以外のステータスが出力された場合は、メッセージの内容に合った対応が必要です。エラーの原因が不明な場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

### 補足

- 次のエラーは、statusが「OK」であれば、対応する必要はありません。

・ mysql.general\_log（一般クエリのログテーブル）の例：

```
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] mysql.general_log
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] Error : You can't use locks with log
tables.
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] status : OK
```

・ mysql.slow\_log（スロークエリのログテーブル）の例：

```
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] mysql.slow_log
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] Error : You can't use locks with log
tables.
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] status : OK
```

### MySQLのエラーについて

MySQLのファイルやデータを段階的に更新することによって、一時的にエラーが発生します。error.logファイルに次のエラーが出力されますが、処理は正常に終了しています。

Windows環境の例：

```
100713 14:46:05 InnoDB: Started; log sequence number 0 40732198
100713 14:46:06 [ERROR] Column count of mysql.db is wrong. Expected 22,
found 20. Created with MySQL 50046, now running 50142. Please use
mysql_upgrade to fix this error.
100713 14:46:06 [ERROR] mysql.user has no 'Event_priv' column at position 29
100713 14:46:06 [ERROR] Event Scheduler: An error occurred when initializing
system tables. Disabling the Event Scheduler.
100512 14:46:06 [Note] C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysqld.exe:
ready for connections.
Version: '5.1.42-enterprise-cybozu' socket: ' port: 3770 MySQL Enterprise
Server (Commercial) - Cybozu
```

エラーメッセージ



注意

- error.log ファイルに出力されたエラーの原因が不明な場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

## 5.3.2 テーブルキャッシュサイズを変更する

### 5.3

バージョンアップ後に行う作業

2.5.4以前のバージョンからバージョンアップした場合は、テーブルキャッシュサイズを変更する必要があります。

### 1 次のサービスを停止する

- ・スケジューリングサービス
- ・データベースエンジン

「サービスの停止／起動／再起動方法」→ P.71

### 2 my.ini ファイルを開き、table\_cache の値を変更する

既定のディレクトリにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリにあります。

- ・Windows 環境 : C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini
- ・Linux 環境 : /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

変更前	変更後
## table_cache = max_connections * 2	## table_cache = max_connections * 2
max_connections = 50	max_connections = 50
table_cache = 600	table_cache = 1300

### 3 次のサービスを起動する

- ・データベースエンジン
- ・スケジューリングサービス

「サービスの停止／起動／再起動方法」→ P.71



注意

- バージョンアップ終了後に、「データベースサーバー設定ファイル (my.ini)」の値を変更することを推奨します。my.ini ファイルに適切な値を設定すると、データベースのパフォーマンスの向上が見込めます。

「データベースエンジンの設定を変更する」→ P.47

### 5.3.3 認証パスワードを再設定する

サイボウズ共通認証の認証パスワードを再設定する方法を説明します。

- 次のすべての条件を満たす場合は、認証パスワードを再設定する必要があります。
  - ・ ガルーンを、バージョン 2.5.2 以前から 3.0.0 にバージョンアップした
  - ・ バージョンアップ前にサイボウズ共通認証を使用していた
  - ・ バージョンアップ後もオープン統合認証 ver.2 かサイボウズ共通認証を使用する

1 「システム管理」画面で、 基本システムの管理 → セッション認証をクリックする

2 「セッション認証」画面で、設定したサイボウズ共通認証のセッション認証名をクリックする

3 変更するをクリックする

オープン統合認証 ver.2	
変更する	削除する
セッション認証名	オープン統合認証 ver.2
セッション認証形式	オープン統合認証 ver.2
モード	オープン統合認証 ver.2
Cookie名	CB_OPENAUTH
認証パスワード	●●●●●●●●
有効時間	6時間
発行ドメイン	
認証データベース	標準データベース
登録者	田中 五川 (はじめて) 11:50
更新者	田中 五川 (はじめて) 11:50

—— クリック

4 認証パスワードを入力し、 変更する をクリックする

※ バージョンアップ前に設定していたパスワードと、同じパスワードを使用できます。

## 5.3.4 ライセンスを登録する

2.5.4以前のバージョンからバージョンアップした場合は、バージョンアップ後に「ガールーン 3」の新規ユーザーライセンスを登録する必要があります。

ライセンスを登録するまでは試用期間として扱われます。バージョンアップしてから60日以内にライセンスが登録されなかった場合は、「ガールーン 3」のアプリケーションが使用できなくなります。

**1** 「システム管理」画面で、**基本システムの管理** → **ライセンスの順**にクリックし、**ライセンスの管理**をクリックする

**2** **ライセンスを登録する**をクリックする

**3** ライセンスキーを入力し、**登録する**をクリックする  
「\*」が付いている項目は必ず入力してください。

ライセンスキーを  
5文字ずつ入力する

入力後、クリック

※ ライセンスの登録を中止する場合、**キャンセルする**をクリックします。

**4** ライセンス内容を確認し、**登録する**をクリックする

※ ライセンスの登録を中止する場合、**キャンセルする**をクリックします。

# アンインストール

# 6

「Galoon 3」をアンインストールする手順について説明します。

6.1	Windows 環境でのアンインストール .....	66
6.2	Linux 環境でのアンインストール .....	69

# 6.1 Windows 環境でのアンインストール

アンインストールは Windows の「Administrator」権限を持つユーザーで行ってください。ここでは、インストール識別子に「cbgrm」が使用されていることを前提として説明します。

## 注意

- 手順どおりアンインストールを行わなかった場合、完全にアンインストールできない場合があります。

1 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を選択する

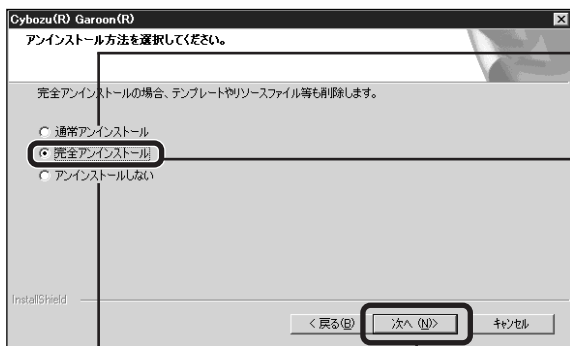
2 「Cybozu(R) Garoon(R) 3.0.0 (cbgrm)」を選択し、**削除** をクリックする



6.1

Windows環境でのアンインストール

### 3 「完全アンインストール」を選択し、**次へ(N) >**をクリックする



テンプレートやリソースファイルなどを残してアンインストールする場合に選択します。

テンプレートやリソースファイルなど含めて完全にアンインストールする場合に選択します。

アンインストールしない場合に選択します。

クリック

※ アンインストールを中止する場合、**キャンセル** をクリックします。

※ 1つ前の画面に戻る場合、**<戻る(B)** をクリックします。

### 4 「メンテナンスの完了」画面が表示されたら、**完了**をクリックする

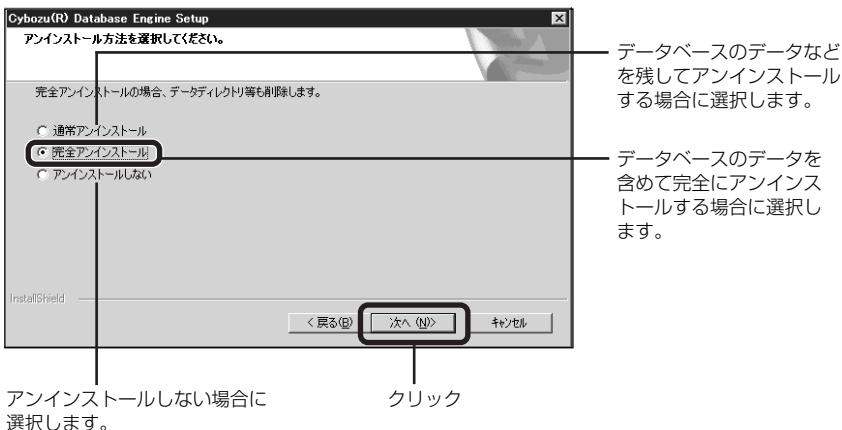


クリック

## 5 「Cybozu(R) Database Engine 5.0」を選択し、「削除」をクリックする



## 6 「完全アンインストール」を選択し、「次へ(N)>」をクリックする



※ アンインストールを中止する場合、「キャンセル」をクリックします。

※ 1つ前の画面に戻る場合、「<戻る(B)」をクリックします。

これで Windows 版の完全アンインストールは完了です。

## 6.2 Linux 環境でのアンインストール

Linux環境は、インストーラー「grn-3.0.0-linux.bin」または「grn-3.0.0-linux-x64.bin」（64bit 版）を使ってアンインストールします。

アンインストールは「root」ユーザーで行う必要があります。

ここでは、インストール識別子に「cbgrn」が使用されていることを前提として説明します。

**注意**

- 手順どおりアンインストールを行わなかった場合、完全にアンインストールできない場合があります。

**1** インストーラー「grn-3.0.0-linux.bin」または「grn-3.0.0-linux-x64.bin」（64bit 版）が存在するディレクトリに移動する

**2** インストーラー「grn-3.0.0-linux.bin」または「grn-3.0.0-linux-x64.bin」（64bit 版）を実行する

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.0.0-linux.bin
```

**3** 表示された内容にしたがって、[Y] または [N] キーを押し、Enter キーを押す

```
この日本語が読める場合は Y を入力してください。
Can you read the above Japanese text? (if not, type 'N')
Y
```

**4** [Space] または Enter キーを押して製品の試用許諾契約を確認し、同意する場合は「yes」と入力し、Enter キーを押す

```
以上の試用許諾条件に同意しますか？
[yes or no]: yes
```

- ※ 試用許諾契約に同意しない場合は、「no」と入力し、Enter キーを押してください。インストーラーが終了します。

## 5 アンインストールするインストール識別子を確認し、Enter キーを押す

次の識別子を持つアプリケーションがすでにインストールされています。

cbgrm

インストール、またはアンインストールするアプリケーションの識別子を入力してください。

新規にインストールする場合は、新しい識別子を入力して下さい。  
インストール識別子はインストールごとに異なる必要があります。  
使用できる文字は「a-z, A-Z, \_」、またはその後に「0-9」をつけたものになります。  
識別子の長さは 10文字以内としてください。

バージョンアップまたはアンインストールする場合は、すでにインストールされているアプリケーションの識別子を入力してください。

[cbgrm]:

アンインストールする「ガルーン 3」のインストール識別子を確認します。

6.2

インストール識別子を入力する

## 6 「ガルーン 3」本体を削除するために、「3」と入力し、Enter キーを押す

アプリケーション cbgrm はすでにインストールされています。

1: バージョンアップする

2: 通常アンインストールする (設定ファイルなど、カスタマイズ可能なリソースを残します)

3: 完全アンインストールする (すべてのリソースをディレクトリごと削除します)

[1] [2] [3]:

- ※ 設定ファイルなど、カスタマイズ可能なリソースを残してアンインストールする場合、「2」を入力し、Enter キーを押します。
- ※ すべてのリソースをディレクトリごと削除する場合、「3」を入力し、Enter キーを押します。
- ※ バージョンアップする場合、「1」を入力し、Enter キーを押します。(→ P.54)

## 7 データベースエンジンを削除するために、「3」と入力し、Enter キーを押す

データベースを使用するアプリケーションがアンインストールされています。

データベースエンジンをアンインストールしますか?

1: アンインストールしない

2: 通常アンインストールする (設定ファイルなど、カスタマイズ可能なリソースを残します)

3: 完全アンインストールする (すべてのリソースをディレクトリごと削除します)

[1] [2] [3]:

- ※ 設定ファイルやデータベースファイルなどのリソースを残してアンインストールする場合、「2」を入力し、Enter キーを押します。
- ※ すべてのリソースをディレクトリごと削除する場合、「3」を入力し、Enter キーを押します。
- ※ アンインストールしない場合、「1」を入力し、Enter キーを押します。

これで Linux 版のアンインストールは完了です。

## サービスの停止／起動／再起動方法

「ガールーン 3」のサービスを停止／起動／再起動する方法を説明します。  
既定のインストール識別子（cbgrn）を使用してインストールした場合、停止／  
起動／再起動するサービスは次のとおりです。

### 注意

- サービスの停止は、「スケジューリングサービス」→「データベースエンジン」の順番で停止することを推奨します。
- サービスの開始は、「データベースエンジン」→「スケジューリングサービス」の順番で開始することを推奨します。

### ● Windows 環境の場合

サービスの停止／起動／再起動は Windows の「Administrator」権限を持つユーザーが行ってください。

Windows のスタートメニューから [コントロールパネル] → [管理ツール] → [サービス] を選択し、次のサービスを停止／起動／再起動します。

- ・ Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0
- ・ Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn

### ● Linux 環境の場合

サービスの停止／起動／再起動は「root」ユーザーが行ってください。

#### [ サービスの停止 ]

スケジューリングサービスの停止：

```
[ root@garoon admin ]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn stop
```

データベースエンジンの停止：

```
[ root@garoon admin ]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 stop
```

#### [ サービスの起動 ]

データベースエンジンの起動：

```
[ root@garoon admin ]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 start
```

スケジューリングサービスの起動：

```
[ root@garoon admin ]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn start
```

#### [ サービスの再起動 ]

データベースエンジンの再起動：

```
[ root@garoon admin ]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 restart
```

スケジューリングサービスの再起動：

```
[ root@garoon admin ]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn restart
```

# 索引

## 英数字

Administrators ロール.....	43
Administratorのパスワード.....	20
Apache.....	32
CGI実行可能ディレクトリ .....	11、15、20、24、27、32、34
IIS.....	24
SELinux について.....	32

## あ

アクセスする.....	38
アンインストール.....	65
Linux 環境.....	69
Windows 環境.....	66
アンインストールしない.....	67、70
インストーラー.....	10、25、33
名称.....	10
インストール.....	23、31
Linux 環境.....	31、33
Windows 環境.....	23、25
確認.....	24、32
インストール識別子.....	20、27、33
インストールディレクトリ CGI 実行可能ディレクトリ .....	11、15、20、27、34
起動スクリプトディレクトリ.....	18
ドキュメントルート .....	14、18、20、28、34
プログラム.....	13、26
プログラムとデータ.....	17、34
お客様情報.....	20
お客様情報を登録する.....	41
<b>か</b> 完全アンインストール.....	67、68、70
記号.....	2
更新プログラム.....	58

## さ

サーバー環境構築例.....	9
サンプルデータ.....	40
システム管理画面.....	41、43
システム管理者情報.....	20
システム管理者を登録する.....	43
システムの初期化画面.....	39
実行ユーザー名.....	35
準備しておく情報.....	20
試用許諾契約.....	25、33
商標.....	3
初期化する.....	38
初期設定.....	37
Administrator のパスワード.....	39
お客様情報.....	41
システム管理者.....	43
データベース接続ユーザーのパスワード.....	39
製品名称.....	3
製品略称.....	3

## た

対象読者.....	2
通常アンインストール.....	67、68、70
データベース管理ユーザー.....	20、26、34
データベース接続ユーザー.....	20、39
テーブルキャッシュサイズ.....	62
動作環境.....	8
対応 OS.....	8
対応 Web サーバー.....	8
対応 Web ブラウザー.....	9
導入の流れ.....	19
ドキュメントルート .....	14、18、20、24、28、32、34
<b>な</b> 認証パスワード.....	63

**は**

- バージョンアップ ..... 49
  - Linux 環境 ..... 54
  - Windows 環境 ..... 50
- 表記 ..... 2
- 標準データ ..... 40
- ファイル構成 ..... 11
  - Cybozu データベースエンジン ..... 13、17
  - Linux 版 ..... 15
  - Windows 版 ..... 11
  - 画像ファイル ..... 14、18
  - 起動スクリプトファイル ..... 18
  - 本体 ..... 11、15

**ま**

- マニュアル作成環境 ..... 2

**や**

- ユーザー情報の入力項目 ..... 44

**ら**

- リンク画面 ..... 40、41